

平成元年度 修復文化財関係銘文集成

〈凡例〉

- ・本集成は、平成元年度に、京都国立博物館文化財保存修理所において文化財の修復時に確認された銘文等（納入品を含む）を収めたものである。
- ・配列は、彫刻・絵画に分け、それぞれの銘文の年代順とし、年紀のないものを後にまとめた。
- ・銘文の解説は担当者側の判断によったが、なお参照資料として、図版・挿図をできるだけ多く入れた。
- ・改行は原文どおりを原則とした。なお漢字は新字体に統一し、異体字は原則として通行の字体に直した。
- ・法量の単位はセンチメートルである。
- ・各銘文の末尾に、①西暦年 ②修理施工者 ③参考文献 ④所在地 ⑤備考を付した。
- ・銘文の解説、釈文の作成は、国指定分については文化庁文化財保護部美術工芸課が、それ以外は岩田茂樹（当館客員研究員）がそれぞれ担当した。
- ・本集成は、担当者が修理所で行った銘文の調査に基づく。その際、各工房から写真等の資料の提供を受け、図版および挿図として使用した。

目次

彫刻

- 1 弥勒菩薩坐像 建久三年 京都 醍醐寺
- 2 地藏菩薩立像 寛喜元年 京都 寂光院
- 3 阿弥陀如来立像 文暦二年・寛文元年 滋賀 阿弥陀寺
- 4 随神立像 元亨二年・永禄十三年 愛媛 大山祇神社
- 5 狛犬 元亨年中 滋賀 大宝神社
- 6 薬師如来坐像 天文十五年 宮崎 薬師寺
- 7 金剛力士立像(吽形) 寛文四年 愛知 高讃寺
- 8 弥勒仏坐像 元禄十一年 岐阜 瑞林寺
- 9 聖徳太子立像 宝永七年 千葉 新勝寺
- 10 他阿上人真教坐像(無年紀) 山梨 称願寺

絵画

- 11 三十三所観音像のうち 応永二十九年・永禄十二年・元禄九年 愛知 長興寺
- 12 千手観音像 天文十八年 大阪 慈光寺
- 13 蓮如上人像 慶長十一年・文化三年・弘化三年 愛知 阿弥陀寺
- 14 両界曼荼羅図 慶安三年・寛政四年 奈良 円成寺
- 15 仏涅槃図 安永三年・明治十一年 京都 吉祥寺
- 16 成相寺伽藍絵図 明治十一年 兵庫 成相寺
- 17 阿弥陀三尊像(無年紀) 大阪 勝尾寺

彫刻

1 弥勒菩薩坐像(図1) 重要文化財

一 軀

京都 醍醐寺

木造金泥塗・切金文様 像高一〇・七

〔像内両脚部朱漆書〕

願主権僧正勝賢

建久三年八月五日始之

同十一月二日供養 巧匠³阿弥陀仏

- ①建久三年(一一九二) ②(財)美術院 ③赤松俊秀「快慶作の弥勒菩薩像 醍醐寺三宝院藏」(『大和文華』四 昭和二十六年) ④京都府京都市伏見区醍醐伽藍町

2 地藏菩薩立像(図2) 重要文化財

一 軀

京都 寂光院

木造彩色 像高二五六・四

像内納入品

〔寛喜元年十一月五日寂如造像願文墨書〕

娑婆世界南閻浮提日本国山城州愛

(卷) 宏県大原村来迎院憎寂如為永離

三途往生極樂自他同証無上菩提寛

喜元年歲次己丑始自夏五月朔十三日

至于冬十月比謹奉造立半丈六地藏菩

薩像一軀懷収法花經要品花嚴梵

網占察心地觀經要文理趣般若經心

經大般涅槃經要文随求尊勝弥陀

千手大日不動光明樓閣羅索地藏菩

薩等陀羅尼合廿種地藏十輪經第

一卷惣為五軸々中収一粒仏舍利

及収妙色声等五境良藥并三寶

惣別名号也我若向熱地獄得解

脫風入清涼城我若向寒地獄得見

大智光堯無漏智火鬼畜修羅乃至

八難隨応必蒙地藏菩薩種々方便

引摂利益唯願大悲地藏尊証知

証成我心願及以加持所有三際三

業諸善根転為定生極樂界清

淨不動之功德又願大悲地藏尊

証知証成我心願臨終決定現在

前引摂往生弥陀国見仏聞法

悟無生隨心往詣十方界広修

普賢大願行展転利生無窮尽

如我得得如是利益於此善根見

聞覺知一切衆生乃至到於一針

一草一事一念之功力者同預

此善

所謂法印聖覺 沙門仙尊 法橋永聖

僧成忍 尊阿 円超 延寿 禅寂

行仏 藤原氏 藤原氏 尼如性

性妙 理円 西如 直心 僧浄法

僧信勢 忍超

中樂法師

願以此功德 普及於一切

我及与信者 皆共生極樂

從今至成仏 常值地藏尊

我等与衆生 皆共成仏道

寛喜元年十一月五日沙門寂如

南无釈迦牟尼仏 南无過去一切仏

南无弥勒仏 南无未來一切仏

南无阿弥陀仏 南无現在一切仏

南无三世一切仏 南无仏眼所照一切正法

南无仏眼所照一切僧宝

南无仏眼所照三世十方一切三宝

〔諸種真言奥書墨書〕

寛喜 元年九月廿三日書寫了仏子成忍

寛喜元年九月廿三日書寫了仏子成忍

〔包紙裏結縁交名墨書〕

ふちわらの女  んあみたふつ六もん (花押)

ゆいすかう

西蓮坊西長父為 教快 備中女 子息等 父母 春日父母 老女

定賀大徳 十方法界一切過去靈等 入道 字薬師尼 土用女 子息等

父母 姉

〔茶地平絹香袋墨書〕

コノ今日ノ志ノ

カウハシサヲオホシ

テカナラス極樂

浄土ニミチヒキ

タマエ

①寛喜元年(一二二九) ②(財)美術院・(株)宇佐美松鶴堂 ④京都府京都市左京区大原草生町一七

3 阿弥陀如来立像(図3) 重要文化財

滋賀 阿弥陀寺

木造漆箔 像高九八・六

〔右足柄外側墨書〕

巧匠

法眼行快

〔台座受座（別保管）裏墨書〕

大宮大仏師

七左衛門（花押）

寛文元歳

壬十月十五日

像内納入品

〔文暦二年五月八日入蓮願文・結縁交名等墨書〕

弟子入蓮敬白欲令早遂順次往生化度一切衆生大誓願事右入蓮無始

以来広却多生之間若雖稟人身奉値仏教定□有歟而（希カ） 釈尊

御入滅之後幸生仏法流布之世適剃除鬚鬚為仏弟子念々所

修者成仏得道之業漸々修營者化度衆生之目也縱過現之罪障

深重所修之業因不如説備奉写弥陀本願称念名号經之極重罪人

無他方便唯称念仏得生極樂又金言無誤願力何空愛弟子所泰

者除中爰去病患知死期遇善知識所望者退惡魔無妄念心身安

十念成就必遂順次往生早欲令□（抜カ） 済一切衆生矣仍大誓願之状如件

敬白文暦二年乙未五月八日弟子入蓮（花押）敬白（以下二十五行

にわたり交名を記す）

〔結縁交名墨書〕

清浄房 浄蓮房

〔包紙墨書〕

（表）

南无阿弥陀仏

（裏）

乃□

を□

な□

あ

〔包紙墨書〕

三ひやくくわん（くわんカ）

念西息□

〔包紙（再納入）墨書〕

念西息□

〔入道行蓮法眼行快等願文・結縁交名墨書〕

ひめこれう 力王丸 さかわう すけとの

入道行蓮 法眼行快 憎行慶

重実 重綱 藤原女 みのとの

いよ□（殿カ） とさとの

尼忍阿弥陀仏 尼成阿弥陀仏 尼覚如房

阿弥陀仏 一切衆生成仏道

南无アミタ仏ナモアミタフツ南无阿弥陀仏

〔紙背消息 首欠〕

す候へく申候ときにさすかと思
候てけふまでまいらせ候はぬ
ほいなくおほへ候□恐ゝ

四月廿九日 時阿

〔結縁交名墨書〕

〔第一紙書出〕

へ姫女 席一郎 席 石井氏女…(全五十二行、十名毎に合点を付す)

〔第一紙端裏〕

七百八十人

〔第二紙書出〕

釈子義空 聖^證覚 重基 秀恵 藤原忠明 尼妙心 僧澄空…(全四十六行)

〔第二紙端裏〕

六百七十人

〔第三紙書出〕

中原氏 薬師 秦氏女 佐伯氏女…(全四十七行、十名毎に合点を付す)

〔第三紙端裏〕

五百五十人

〔第四紙書出〕

へ僧勝意 中原景直 源氏女 宝阿弥陀仏…(全五十行、十名毎に

合点を付す)

〔第四紙端裏〕

七百廿人

〔第五紙書出〕

へ尼西妙 藤原吉光 秦末包 野良部氏女…(全四十七行、十名毎に合点を付す)

〔第五紙端裏〕

六百三十人

〔第六紙書出〕

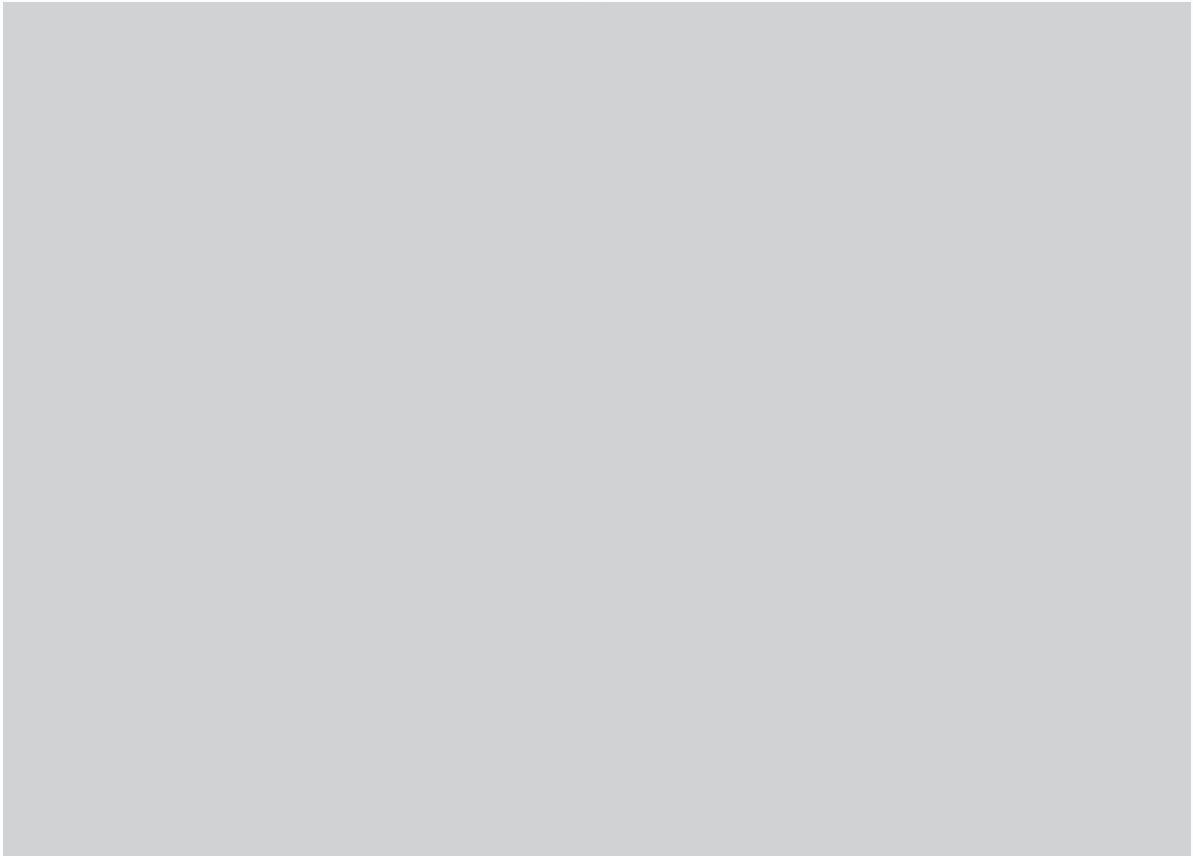
□原女 浄阿弥陀仏 伴助広 蓮王女…(全五十行、十名毎に合点を付す)

〔第六紙端裏〕

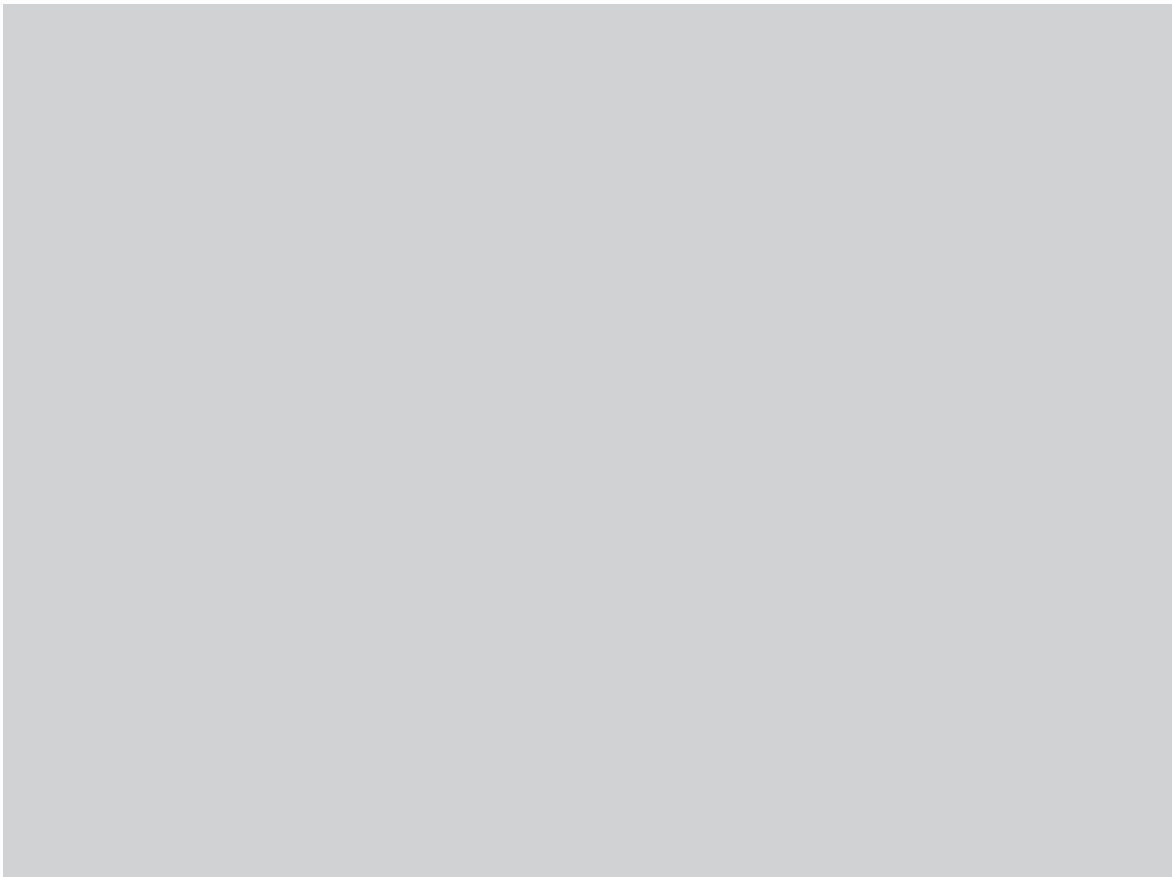
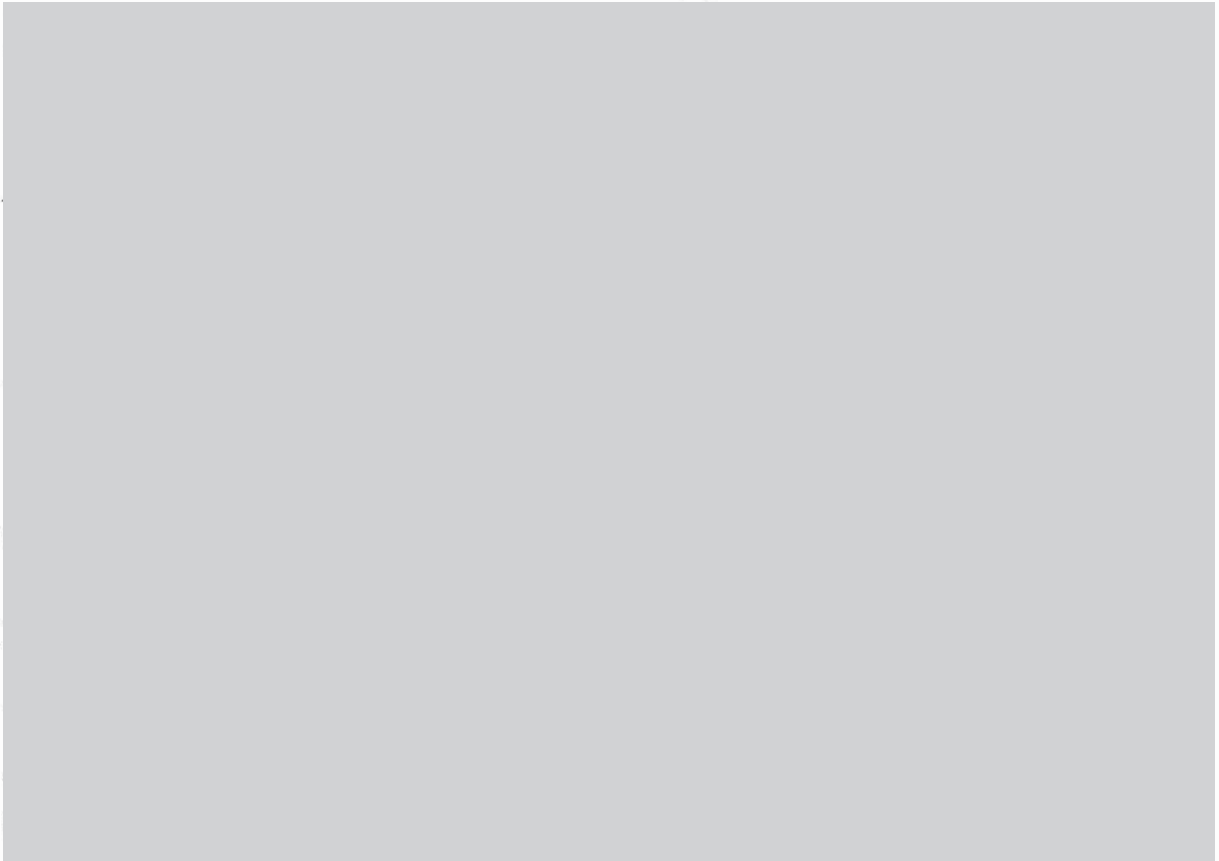
七百八十人

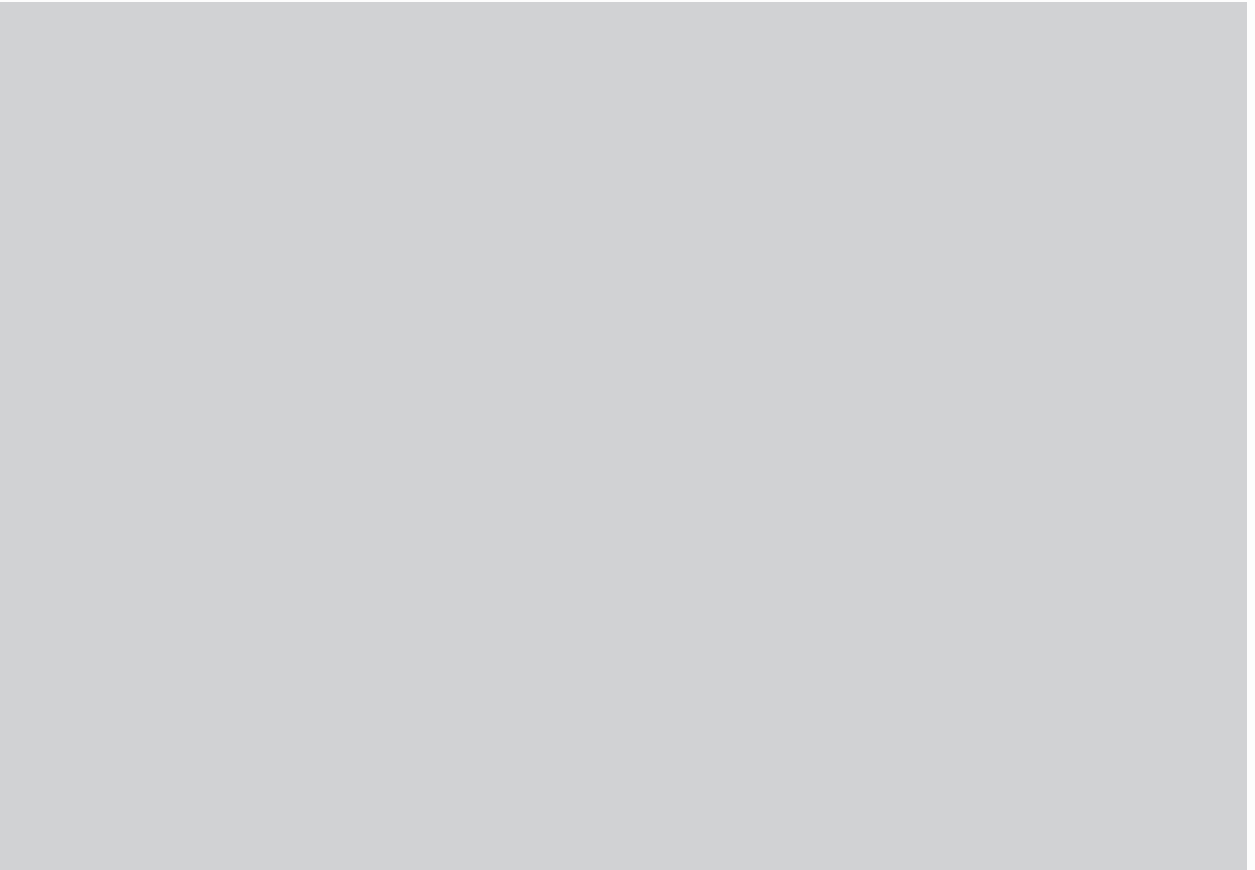
〔第七紙書出〕

へ藤原氏 宮治氏女 心阿弥陀仏 中原氏…(十六行、十名毎に合点を付す)









〔第七紙端裏〕

二百二十七人

〔第七紙奥書〕

已上四千三百卅三人

願以書写力 臨終見弥陀与已上諸人 必生安樂国 書写僧澄空

〔書狀断簡墨書〕

この御かたにはい

〔紙片墨書〕

志んめ

〔包紙（再納入）墨書〕

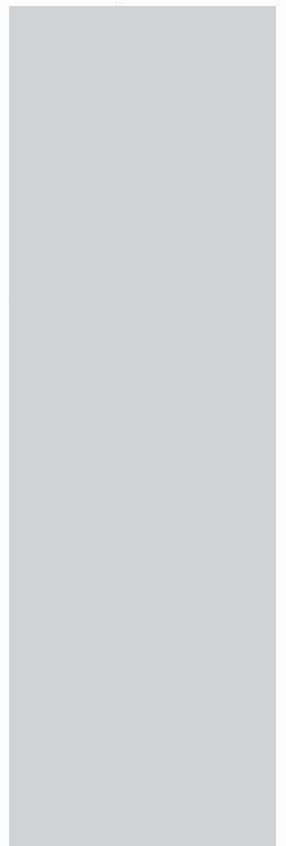
□

□天ア□

□天アカ□

□天ヒラケ□

〔和歌断簡墨書〕



のきふかきはるはかりくる月かけのなこりおのこすそでのしら
つゆ

〔断簡墨書〕

〔別筆〕
「ひむあうせ候ぬ候へく候」

この御てとも

ぬしわう上

こくらく

〔断簡墨書〕

けになこりも御しの「」

①文暦二年（一二三五年）、寛文元年（一六六二） ②（財）美術院・
（株）宇佐美松鶴堂 ③薄井和男「滋賀・阿弥陀寺の行快作阿弥陀如
来立像」『仏教芸術』一六七 昭和六十一年七月 ④滋賀県伊香郡
西浅井町大字菅浦二四〇 ⑤（再納入）とある包紙は包んでいた頭髪
ないしは黒色の灰と共に像内に再び納入された。

4 随神立像（図4）のうち

一 軀

愛媛 大山祇神社

木造彩色 像高一八七・七

〔体幹部第二層中央材上方部（前面）墨書〕

北方毘沙門天王

木作始元亨貳年壬戌五月三日庚午
奉立同七月廿八日甲子

卅 五 百

素木加持僧浄住寺朝賢

大願主管原道式并女大施主比（つ）尼妙法

大願主越智盛房同女大施主

大仏師美作法橋宗盛

長員同妻女沙弥蓮證小野氏女

〔体幹部第二層右方材下部柄墨書〕

沙弥蓮證小野氏女

戊歳長員同妻

〔体幹部第二層中央材上方部（背面）墨書〕

于時永祿十三天^{庚午}五月三日^{庚午}□□^{（生カ）}仏師^{松原孫左衛門}

於崇徳寺再興大旦那村上河内守吉繼

本願住持案周法印本國播州住

右此門客人者去年閏五月七日夜

後之從山巖^{ツエマケ}破地隨出來大水二階

樓門破拜殿傾損次年卯月^ニ

地頭河内守取定侍也

一侍程や神の飼当郭公

明やす紀夜の月の玉垣

①元亨二年（一二三二）、永祿十三年（一五七〇） ②（財）美術院 ④
愛媛県越智郡大三島町宮浦 ⑤四軀で一具をなし、平成元年度修理
分はそのうちの二軀。

5 狛犬（吽形） 滋賀県指定文化財

一軀

滋賢 大宝神社

木造漆箔 像高九八・〇

〔像内右頭部墨書〕

元亨年

中宮作

雖送百万

年歳星^作

修理退転

願主東北

安室上

人播州

作者

大法師祐賢

山門方

五十六

〔像内体部右方墨書〕

南無牛頭^天

①元亨年中(一二三二～一二四) ②(財)美術院 ③宇野茂樹編『近江造像銘』(山本湖舟写真工芸部 昭和三十三年) ④滋賀県栗太郡栗東町綾

6 薬師如来坐像 宮崎県指定文化財

一 軀

宮崎 薬師寺
像高五二・二

〔像内両脚部朱書〕

夫

当時御本尊者

忝伝教大師御作云

数百歳以後

天文十五年丙午

十一月八日採色

大檀那藤原朝臣

義祐并 女妻

開眼供養道口

権大僧都口

大工仏師周口

此時本口

慶雄

①天文十五年(一五四六) ②(財)美術院 ④宮崎県東諸県郡国富町八代

7 金剛力士立像(吡形) 愛知県指定文化財

一 軀

愛知 高讃寺

木造彩色 像高二六二・九

〔像内背部墨書〕

尾州智多郡枳豆志之庄阿野村

御嶽山高讃寺者人皇四十一代之帝

天武天皇之御願所白鳳十二年之草

創也年序一千年也爰仁王之尊形

既荒廃所同枳豆志之庄苅屋村庄屋盛山氏六太夫

為仏果菩提善苗祈那羅延之二尊一鉢是再興

亦一鉢之尊形者勸励諸人奉再興者也本願長慶生年二十六

于時寛文四年

奉加願人盛山六太夫重家

甲辰三月十二日取懸也

御仏師利倉伝左衛門定仁

①寛文四年(一六六四) ②(財)美術院 ④愛知県常滑市西阿野峪七一
⑤阿形の銘文は『学叢』第十二号所載。

岐阜 瑞林寺

木造漆箔 像高二九六・〇

〔像内背部左方墨書〕

元禄十一年

了性院法仙月衆靈

寅八月十六日

〔像内背部中央墨書〕

再興ノ仏師山城国京愛宕郡平安城七条

大仏師安阿弥ノ流家^{頭取}藤川安性薫道

第子 増田利兵衛

中間見舞助人^{仏師}高野佐京

同 藤田与左衛門

同 前川市兵衛

同 沢村吉兵衛

〔像内腹部墨書〕

仏體被^セ布之施主

露幻童子河合か右衛門□ かたひら二つ

林霜嬰女童作洞茂兵衛娘^{かたひら}

古かたひら壺つ大村孫次右衛門老母

同かたひら壺つ同村佐左衛門老母

布きれ 上蜂屋忠衛門

かたひら壺つ加治田村渡部九郎三郎

新敷布壺端日西洞村久右衛門母

古かたひら壺つ西田原村助右衛門

古衣壺つ与兵衛取次

布切二つ山ノ上村助右衛門^{老母}_{内方}

布切二尺石原村 布切壺尺ひろはし又七

布切二尺作洞半七母布切^レ壺尺山之上村

古^ルかたひら壺つ岸玄良内方

手ぬくひ壺つ八郎兵衛母同壺つ^{せき}_{おきく}

古^ル袴壺つ下保村清兵衛

肩衣壺つ関左衛門

古^ルかたひら壺つ関四郎左衛門

古^ルかたひら壺つ関四郎左衛門内方

古^ル袴二つ安田善兵衛作洞庄や

古^ルかたひら壺つ安田善兵衛作洞庄や

古^ル上下壺具村瀬又左衛門子息又八

(以上、上段)

(以上、下段)

①元禄十一年(一六九八) ②(財)美術院 ④岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋九一

9 聖徳太子立像

一 軀
千葉 新勝寺
木造漆箔彩色 像高二七・〇

〔像内胸部墨書〕

南無阿弥陀仏

天下太平

国土安全

〔像内背部上方墨書〕

願主

宝永七天 河内国西修

六拾六部 為供養造立之

禁中御免

聖徳太子御像 奉安置浅草大護院境内

寅

五月吉日

〔像内背部下方墨書〕

四条大仏師

法橋運安

同漆嶋左門

作之

①宝永七年(一七一〇) ②(財)美術院 ④千葉県成田市成田一一

絵画

10 他阿上人真教坐像(図5) 重要文化財

一 軀
山梨 称願寺
木造彩色 像高八三・三

11 三十三所観音像(中尊)(図6) 愛知県指定文化財

一幅
愛知 長興寺
絹本墨画 縦一一五・〇 横五九・〇

〔像内首柄底面墨書〕

せあみたふ

〔画中左上墨書〕

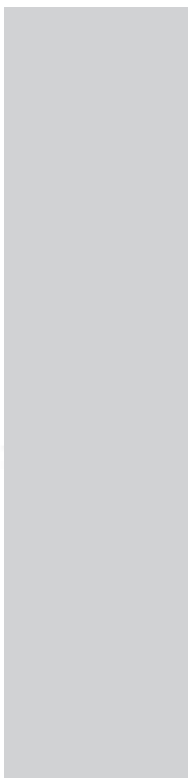
②(財)美術院 ④山梨県東八代郡御坂町上黒駒二九六九

三河国高橋庄衣郷雲林寺住持比丘尼瑞琳
謹揮浄財命工奉絵円通大士尊像三十三體
同加裝飾 專祈 天下泰平国土安静
檀門繁栄寺門昌盛次冀瑞琳罪愆消滅
願望円成普導怨親同登彼岸
応永二十九年壬寅結制日

万年山相国住持比丘周頌謹記

〔表装裏貼絹墨書〕

三宅右近尉妻女お口重寄進之
于時永禄十二年己十二月吉日



〔表装裏墨書〕

元禄九年丙子

五月十八日

住持

天倫叟祖昆梢補焉

①応永二十九年（一四三二）、永禄十二年（一五六九）、元禄九年（一六九六）②（株）宇佐美松鶴堂 ④愛知県豊田市長興寺一―二九

12 千手観音像（図7）大阪府指定文化財

一面

大阪 慈光寺

板絵著色 高一五四・二

〔裏面墨書〕

奉図画千手千眼大菩薩

右意趣者念劇藍傷依堂舎破壇

若我誓願大悲中一人不成二世願

本尊令退転 給依之鬼取山新坊

勵志致施入者也若然者伽藍繁昌 而寺院

安詮住侶等息 災延命仏法興隆庄 内

太平興法利生万民豐饒如意成弁 之

祈所粗如件

于時天文十八年 己酉八月十四

奎宿 日權大僧都円秀 敬
木曜 白

①天文十八年（二五四九） ②（財）美術院 ④大阪府東大阪市東豊浦町一八二八

13 蓮如上人像（図8）稲沢市指定文化財

一幅

愛知 阿弥陀寺

絹本著色 縦九四・〇 横三七・五

〔表装裏貼紙墨書〕

本願寺（教如）（花押）

慶長拾一丙午稔十一月九日

尾州中嶋郡下津村

蓮如上人真影 阿弥陀寺常住物也

願主釈□□

〔表装裏墨書（八双下）〕

蓮師御影

〔軸木墨書〕

文化三寅十一月十□

尾州かいさい押切御表具師柴田吉左衛門仕候

〔八双墨書〕

弘化三丙午八月田七田成田寿

①慶長十一年（一六〇六）、文化三年（一八〇六）、弘化三年（一八四六） ②（株）岡墨光堂 ④愛知県稲沢市下津町

修覆之

14 両界曼荼羅図 奈良市指定文化財

二幅

奈良 円成寺

絹本着色（金剛界）縦一四五・二 横一二七・〇

（胎藏界）縦一四六・〇 横一二七・〇

〔その一・軸木墨書〕

慶安三年 たのさつきぬけ出水上町

表具屋 長兵衛

子八左衛門（花押）

寛政四_子 歳六月朔日

南都鵲町表具師和助

修覆之

〔その二・軸木墨書〕

慶安三年京たのさ通出水上町

表具屋長兵衛

とらノ十一月吉日 子同八左衛門（花押）

寛政四_子 歳六月朔日

南都鵲町表具師和助

①慶安三年（一六五〇）、寛政四年（一七九二） ②（株）宇佐美松鶴堂 ④奈良市忍辱山町一二七五 ⑤現在軸木は表装からはずして別保存され、いずれが金剛界用・胎藏界用であったかは不明。

15 仏涅槃図 加悦町指定文化財

一幅

京都 吉祥寺

絹本着色 縦一四六・〇 横一〇六・〇

〔表装裏貼紙墨書〕

丹州与佐郡加悦町

天徳山吉祥禅寺什物

安永三_甲 午年十二月 日

義寛代

表具施主当町手米屋半兵衛母

了悟尼

俗名ヲトヨ

〔軸木墨書〕

明治十一寅三月廿六日

須本村

福永_ニ 而

錢谷表具師庄太良

①安永三年（一七七四）、明治十一年（一八七八）②（株）墨申堂④
京都府与謝郡加悦町加悦

16 成相寺伽藍絵図 兵庫県指定文化財

一幅

絹本着色 縦一六八・五 横二二九・五

〔表装裏貼付紙墨書〕

崇徳院御宇開基

高野山実弘上人

文明比現住彦秀僧都

再興乗源和尚

宝永六^己天現住彦秀阿闍梨

明治十一^寅天修覆

寄附 十三代

水田勘左衛門事勘吾重^莫

大久保村^{ヨリ}大野村^江転ス友吉^{ヨリ}

幸次良

現住快隆遮黎

①明治十一年（一八七八）②（株）墨申堂④兵庫県三原郡三原町

17 阿弥陀三尊像 大阪府指定文化財

一幅
大阪 勝尾寺

絹本着色 縦九五・〇 横三七・〇

〔軸木墨書〕

三尊仏

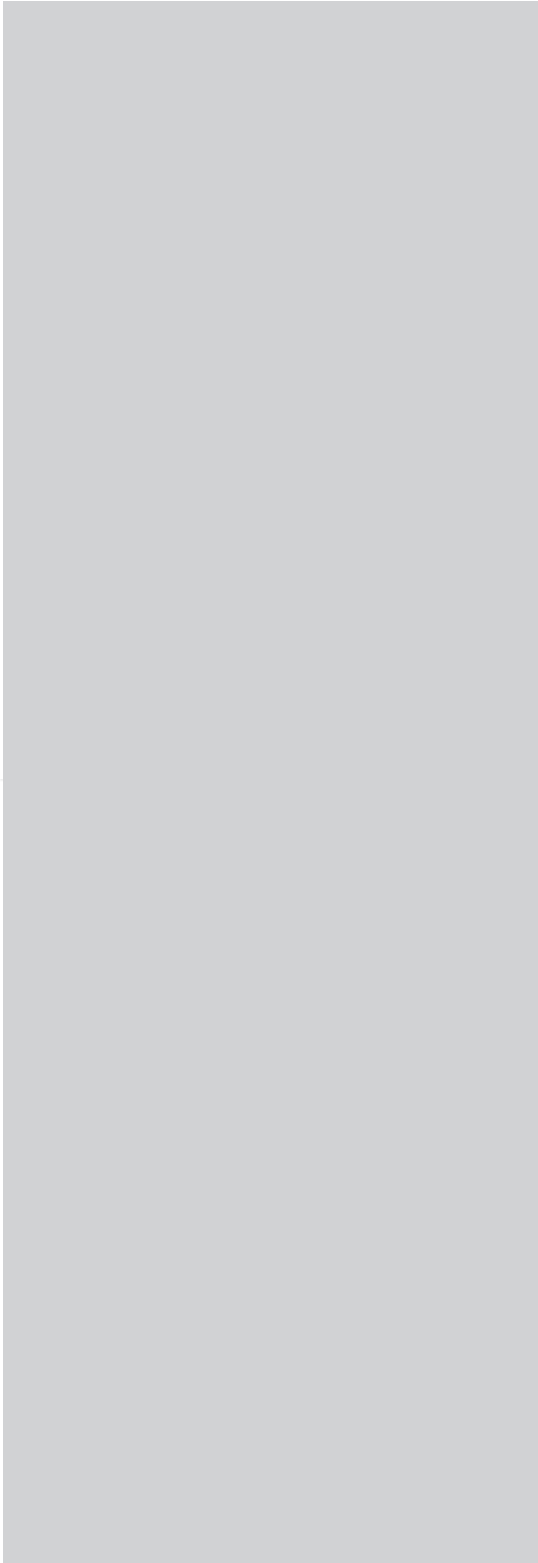
戊辰八月吉日

右之表具^ニ而つくろいはかり仕候

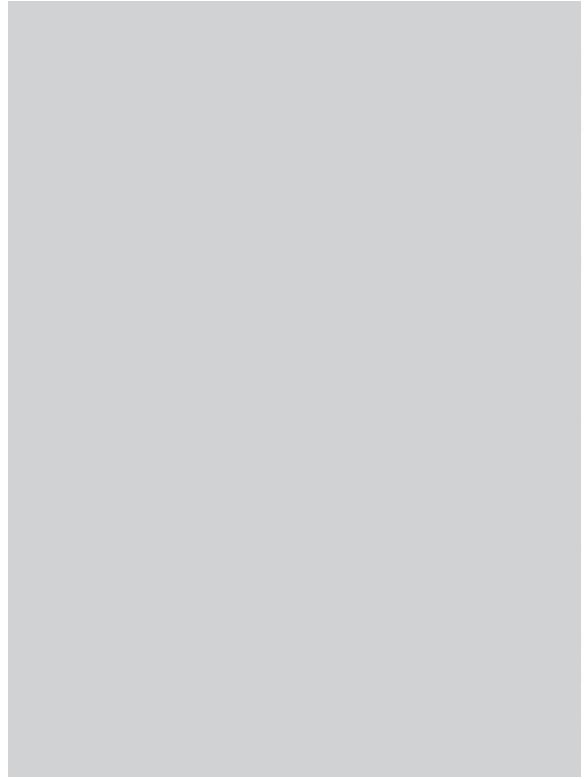
大阪かうらいはし筋

表具師□田九兵衛（花押）

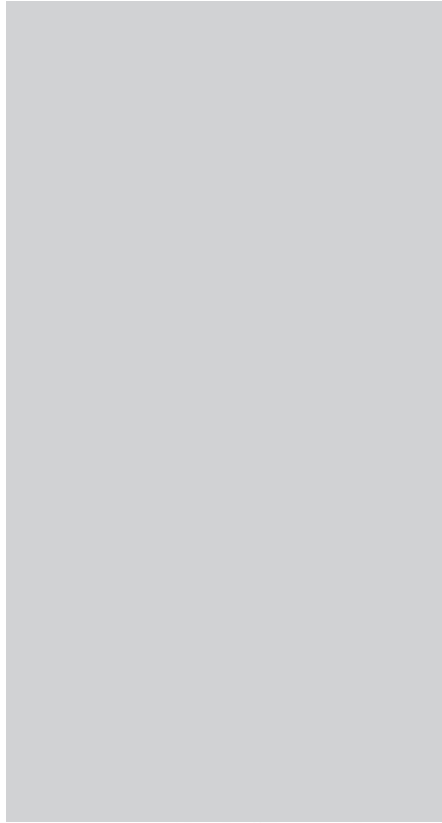
②（株）岡墨光堂④大阪府箕面市粟生間谷二九一四



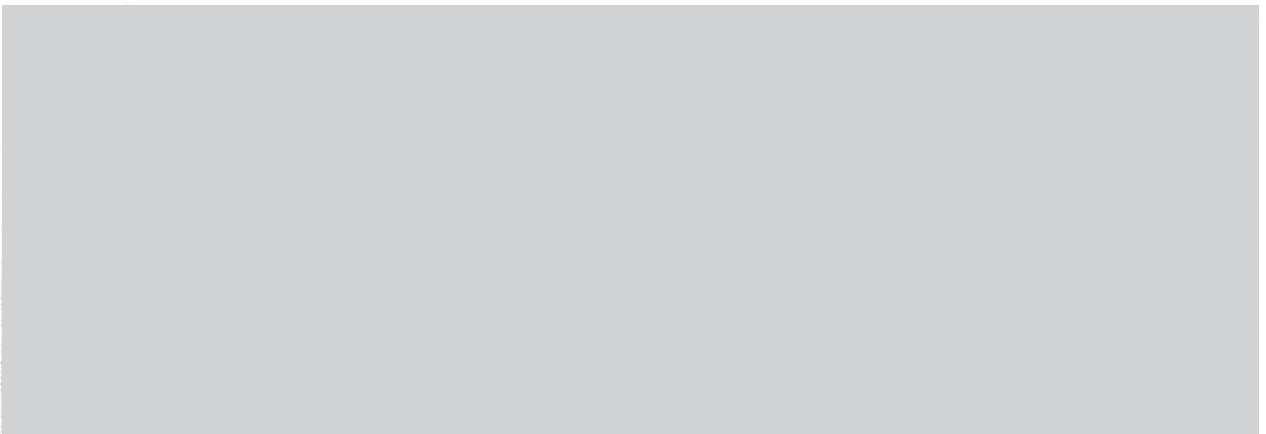
(像内両脚部)



1 弥勒菩薩坐像 醍醐寺

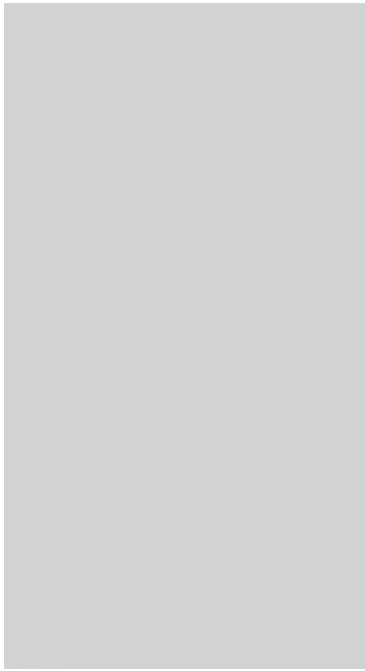


(像内納入願文)

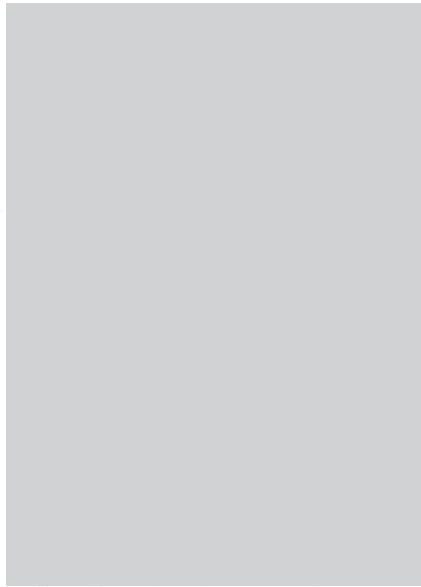


(同上)

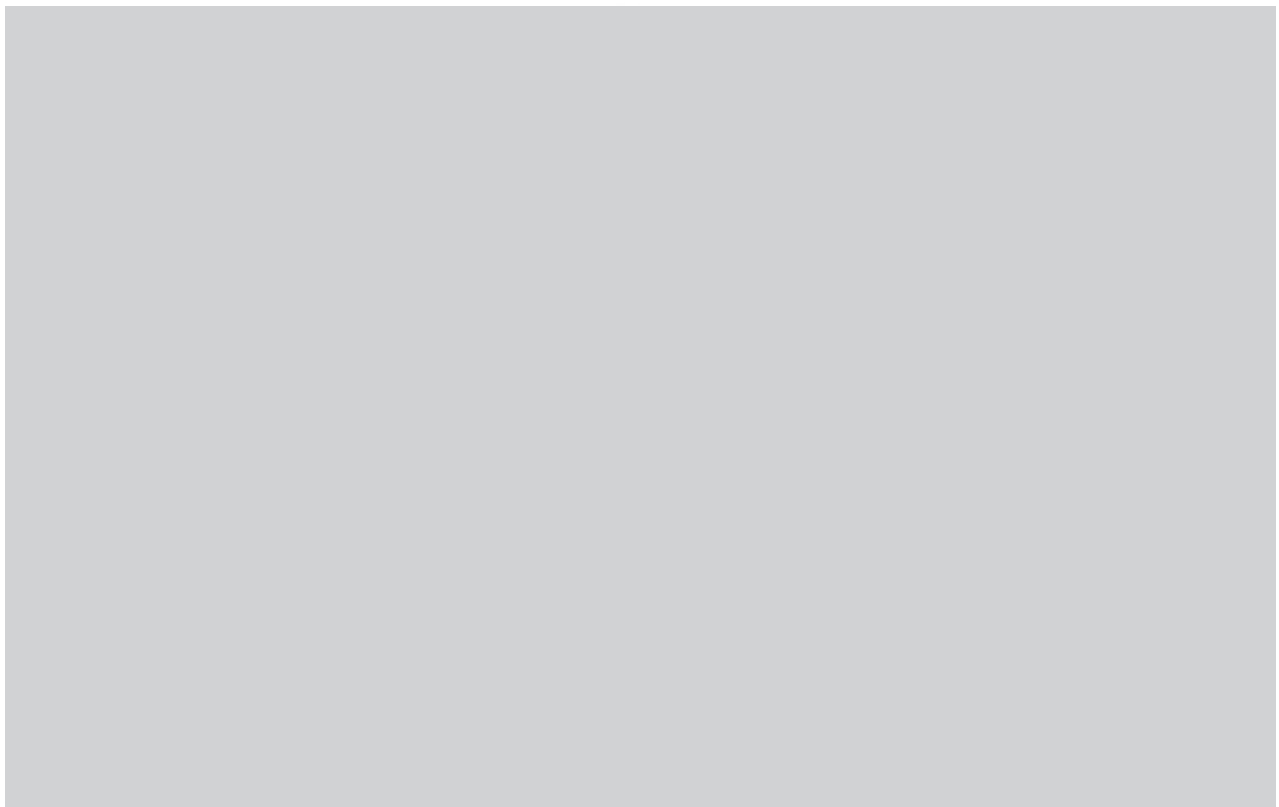
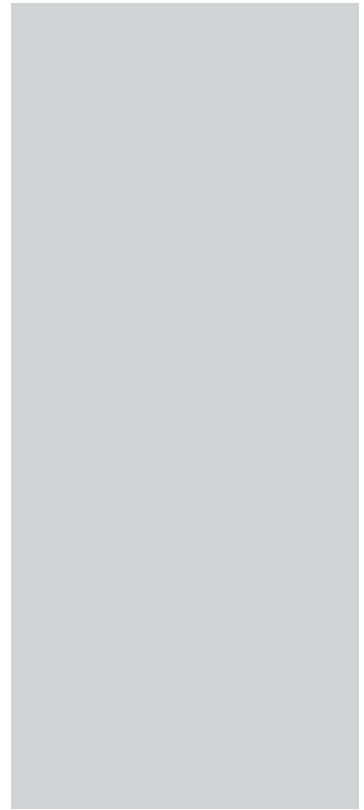
2 地藏菩薩立像 寂光院



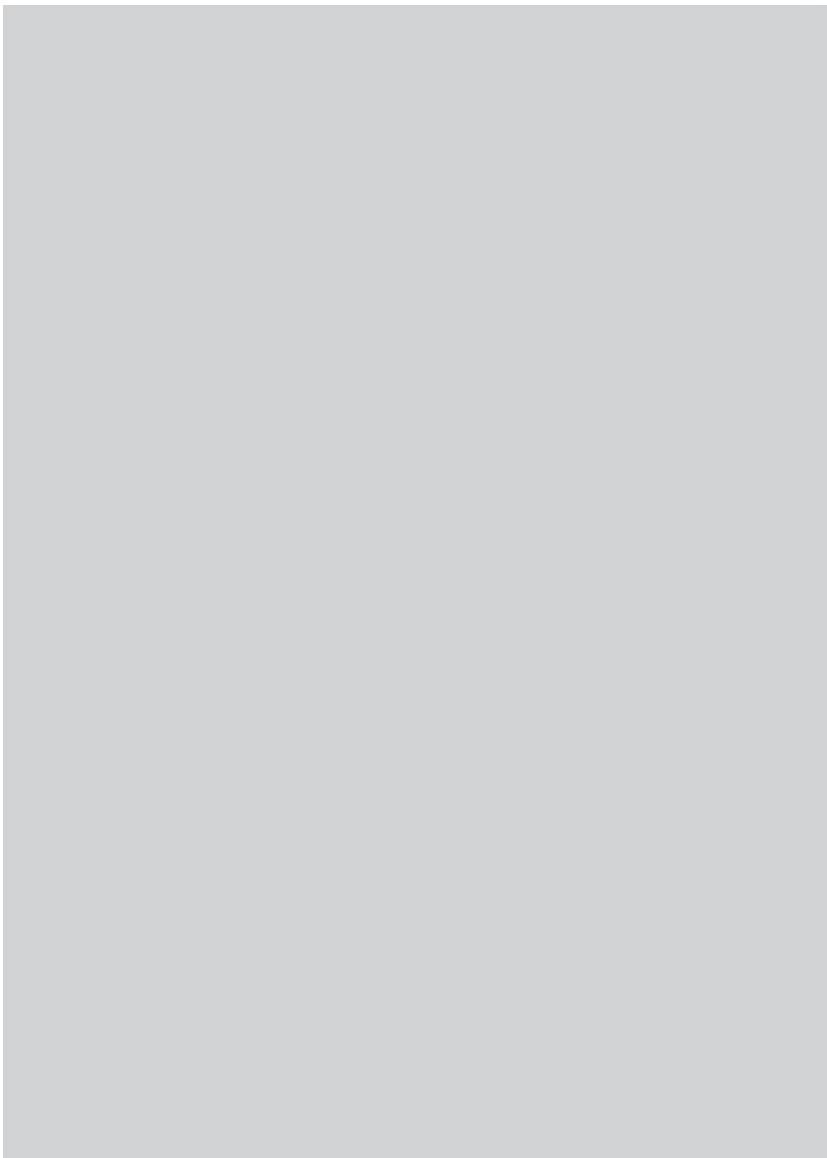
(像内納入結縁交名)



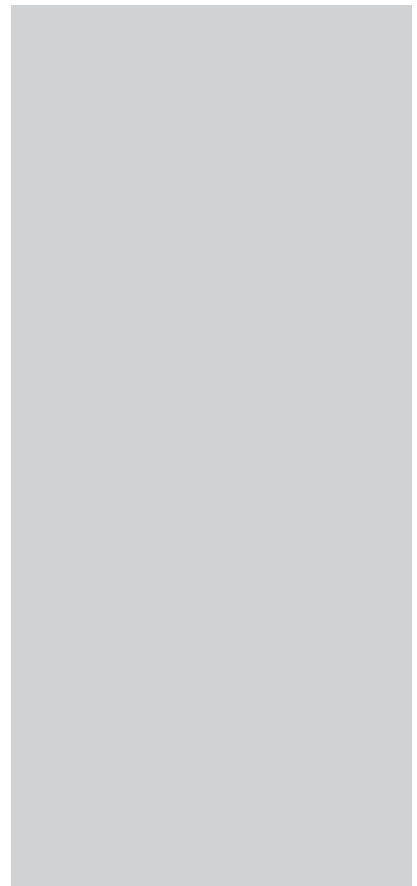
(右足柄外側)



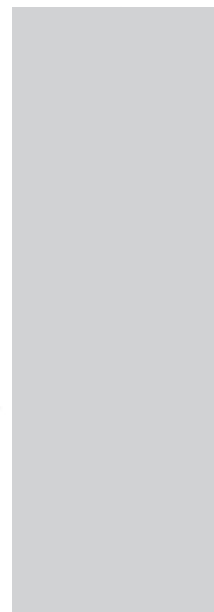
(像内納入願文)



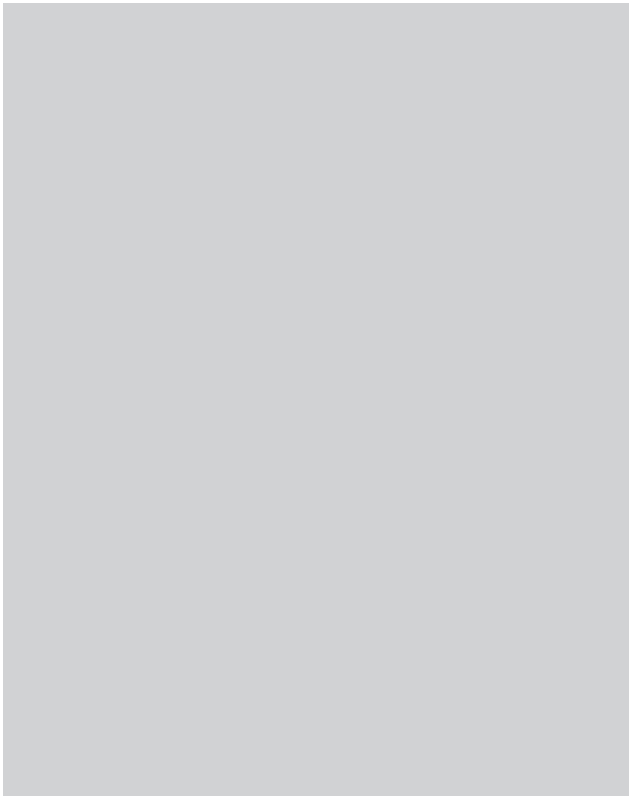
(体幹部第二層中央材上方部前面)



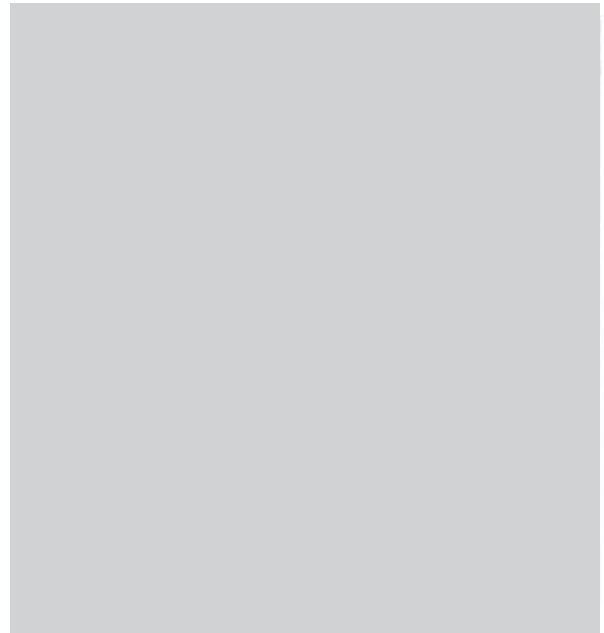
(同・右方材柄)



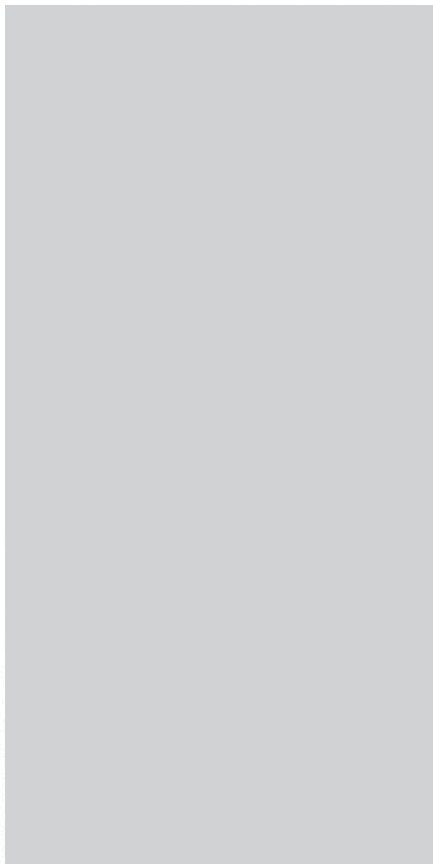
4 随神立像 大山祇神社



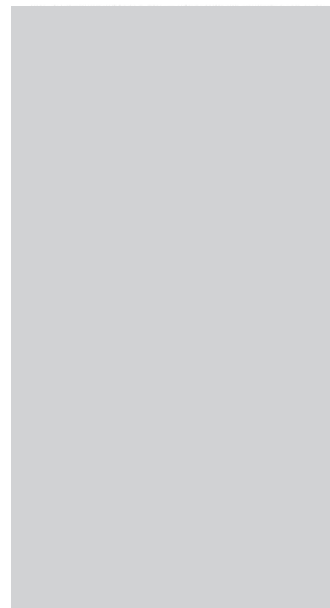
(像内首柄底面)



5 他阿上人真教坐像 称願寺



(画中左上)



6 三十三所観音像 長興寺



(裏面中央)

7 千手観音像 慈光寺



(表装裏貼紙)

8 蓮如像 阿弥陀寺